

第2回 日本プラグフェスト開催報告

[技術本部ハードウェア委員会]

第2回プラグフェストが開催されましたので、報告いたします。

日本プラグフェストは、市場に自社製品を展開しようとしているメーカーに対し、他社製品との相互運用性を確実にさせるための技術イベントです。

■会期・場所

平成24年9月25日(火)～26日(金)

場所 東京都立産業技術研究センター

東京イノベーションハブ

主催 一般社団法人組込みシステム技術協会(JASA)

後援 東京都立産業技術研究センター

■目的・特徴

同一インターフェース規格(HDMI)での他社製品との相互運用性を確実にものにして、不具合解消や品質の向上を目的としています。参加メーカーは、ソース機器、シンク機器、リピータ機器、ケーブルメーカーに分かれ、各々の自社製品を持ち寄って他社製品との接続を行うことで、通信・映像・音声・暗号化認証において、規格に定められた方式に基づいて安定的な接続がなされているかを確認します。

また参加メーカー全体の品質を向上させるため、接続において、日本プラグフェスト独自の試験項目を策定し実施しています。

■参加メーカー

- シンク 10チーム(TV、プロジェクタなど)
- ソース 7チーム(BDプレーヤ、携帯電話、STBなど)
- リピータ 10チーム(AVアンプ、セレクトなど)

計27チーム 58 参加

今回も、大半の国内大手家電メーカーにご参加いただき、年末に発売予定の新製品が多数並びました。前回より参加メーカーが減りましたが、これは年末発売予定の新製品開発時期と重なったためと考えられます。

■試験方法

- 各チームと1対1の対戦
- 1試合、45分
- 延長戦あり

■参加者の声

- 今後も継続的に開催してほしい。
- 対戦表が当日変更になった場合でも、メールにて変更後の対戦表を配布していただけると助かる。
- システム試験が組まれておらず、Source機器メーカーに無理をお願いしてシステム試験をさせてもらった。次回はシステム試験を入れてほしい。
- MHLのプラグフェスト開催を希望。
- 今後も、テクトロやアジレントでの機器測定を続けてほしい。
- 海外のSinkメーカーが参加されているとより良かった。

■日本プラグフェスト次回の予定

次回の開催は、来春(3月または4月)となります。

また地方での開催も検討しております。

■今後の活動について

海外メーカーとの相互運用性を高めるため、海外のメーカーにも参加資格を広げていきたいと思います。JASA会員企業とのコラボレーション企画として、試験会場やパーティ会場での製品の展示スペース作成等を検討しています。今回はHDMIでの開催でしたが、参加企業や規格団体からの要請があれば、他のインターフェース規格での開催も検討します。

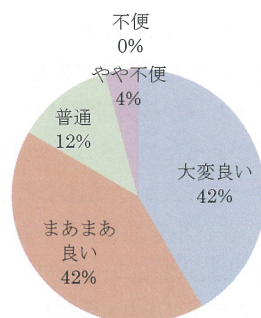
初日には築田会長に開会のご挨拶を頂戴いたしました。また開催期間中、門田専務理事、鈴木事務局長にご視察いただきました。

懇親会ではハードウェア委員会の小西委員長にご挨拶いただきました。

ハードウェア委員会
委員長 小西誠治氏



会場の設備については
いかがでしたか？



接続試験のテスト項目は
いかがでしたか？

